

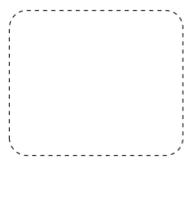
石油燃焼機器用しん 取扱説明書

●しんの交換をする前に、必ずこの取扱説明書を読んで、正しくおこなってください。(しんの交換のしかたがわからない場合は、販売店にご相談ください。)

商品コード	11013907	品名	タイネツシシタタ
適合する機器の型式表	参照		



適合する機器の型式表	
■トヨ-アウロラストーブ RCA-37-86・86A-1-86B-87・88 RS-G30C・G30D・G30E	■トヨ-ア-ター HHA-7-70N・7A-HH-216・SA1-235E-322E・3227E・SA19E・6927
■トヨ-ア-ター HHA-7-70N・7A-HH-216・SA1-235E-322E・3227E・SA19E・6927	■トヨ-ア-ター HHA-7-70N・7A-HH-216・SA1-235E-322E・3227E・SA19E・6927



しんの種類	普通筒しん
呼び寸法	φ55×2.5
からやきの可否	からやき可

株式会社 トヨトミ

製造 SILVER SIM

4501000895

K-08

■特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

ここに示した事項は △注意 を表示しています。

△注意: この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う) ①マークは「指示」 ②マークは「接触禁止」

△注意(CAUTION)

- ★適合する機器の確認  
適合する機器の型式の呼びが合っていることを確認してください。
- ★保護具の着用  
機器の分解時は、保護具(手袋など)を着用してください。
- ★高温部に注意  
必ずストーブを消火し、ストーブの温度が十分に下がってからおこなってください。
- ★乾電池を取りはずす  
必ずストーブの乾電池を取りはずしてからおこなってください。
- ★廃棄するとき  
交換したしんは乾燥させてからビニール袋に入れて廃棄してください。

- ★しん取り付け後の確認  
●しん上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが規定寸法どおり均一にそろっていることを確かめてください。
- 対震自動消火装置を起動させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
- 点火操作をして、正常に燃焼することを確かめてください。
- ★変質した灯油や不純灯油に注意  
変質した灯油、不純灯油、汚れた灯油、水のまじっている灯油などを使用しないでください。
- 異常燃焼や故障(点火しにくくなる、しんが下がらなくなる、火が消えなくなる、など)の原因となり、しんの寿命が短くなります。
- ★この耐熱しんの上部部は、特殊な材料の繊維を使用していますので、糸のほつれ程度を切るだけで先端を「はさみ」などで切らないでください。
- しんを交換したときは、給油後、約20分以上待って、しんに灯油が充分に吸い上げられてから点火してください。充分に吸い上げられていない状態で点火しますと、しんを傷めます。

お願い(NOTICE)

適合する機器の型式表 の 参照 ① の機種

- 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。  
■RS-G30C・G30D・G30Eは乾電池はありません。
- 緊急消火ボタンまたはレバーを押して、対震自動消火装置を作動させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。
- 「しん調節つまみ」を引き抜いてください。
- 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、取りはずしてください。
- 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。
- しん調節器の蝶ナット3本または4本を取りはずし、しん調節器をゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。
- 新しいしんを軽く四つ折りにして、しんホルダーの穴と、しん調節器のみぞの穴にしんのガイドピンを3箇所を差し込んでください。
- しんをしん調節器の内側に指で押しつけながら充分に叩きつけてください。
- しんをしん調節器の上部(燃焼筒の面)の高さが揃っていることを確認してください。
- しん調節器にしん調節つまみを差し込み、しん調節つまみを右(時計方向)に止まるまで回して、しんを上げてください。
- しん調節器パッキンが正しくセットされているか確認してください。
- しんの下部を広げ、しん案内筒としん調節器にしんをなつかせさせるために、前後左右に動かしながらしん調節器をはめ込んでください。

- しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット3本または4本で均等に締めてください。
- しん調節器の上部としん案内筒の上面(燃焼筒の面)の高さが揃っていることを確認してください。
- しん調節器にしん調節つまみを差し込み、しん調節つまみを右(時計方向)に止まるまで回して、しんを上げてください。
- しん調節器パッキンが正しくセットされているか確認してください。
- しんの下部を広げ、しん案内筒としん調節器にしんをなつかせさせるために、前後左右に動かしながらしん調節器をはめ込んでください。
- しん調節器の蝶ナット3本または4本を取りはずし、しん調節器をゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。
- 新しいしんを軽く四つ折りにして、しんホルダーの穴と、しん調節器のみぞの穴にしんのガイドピンを3箇所を差し込んでください。
- しんをしん調節器の内側に指で押しつけながら充分に叩きつけてください。
- しんをしん調節器の上部(燃焼筒の面)の高さが揃っていることを確認してください。
- しん調節器にしん調節つまみを差し込み、しん調節つまみを右(時計方向)に止まるまで回して、しんを上げてください。
- しん調節器パッキンが正しくセットされているか確認してください。
- しんの下部を広げ、しん案内筒としん調節器にしんをなつかせさせるために、前後左右に動かしながらしん調節器をはめ込んでください。

お願い  
この時しんホルダーの上下を間違えないでください。

お願い  
しんのほつれや、糸が油受けざらの外に出ないように注意してください。

適合する機器の型式表 の 参照 ② の機種

- 対震自動消火装置の「緊急消火」の方向(F)に回して、対震自動消火装置を作動させてください。
- 前面のガードを開いて燃焼筒を取り出してください。
- しん調節つまみを引き抜いてください。
- 点火つまみを引き抜いてください。
- 本体の両側面と背面にある止めねじ3本をはずし、本体を上方向に持ち上げて取りはずしてください。
- 以下は、1ページ5項から、4ページ20項を参照して、おこなってください。

- 本体の両側面と背面を、止めねじ3本で固定してください。
- しん調節つまみを差し込んでください。
- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。
- 乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。
- 油タンクを挿入してから20分以上待って、しんに灯油が充分に吸い上げられてからしん調節つまみを回してしんを上下させ、点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。
- RS-G30C・G30D・G30Eで点火しにくい場合は、一旦、緊急消火ボタンで対震自動消火装置を作動させた後、再度しんを上げて点火してください。

- しんを最大に上げた時、しんの高さは標準(でるでるつまみの①の穴)に固定ピンの凸部を入れてください。
- しん調節器の上部としん案内筒の上面(燃焼筒の面)の高さが揃っていることを確認してください。
- しん調節器にしん調節つまみを差し込み、しん調節つまみを右(時計方向)に止まるまで回して、しんを上げてください。
- しん調節器パッキンが正しくセットされているか確認してください。
- しんの下部を広げ、しん案内筒としん調節器にしんをなつかせさせるために、前後左右に動かしながらしん調節器をはめ込んでください。
- しんを最大に上げた時、しんの高さは標準(でるでるつまみの①の穴)に固定ピンの凸部を入れてください。
- しん調節器の上部としん案内筒の上面(燃焼筒の面)の高さが揃っていることを確認してください。
- しん調節器にしん調節つまみを差し込み、しん調節つまみを右(時計方向)に止まるまで回して、しんを上げてください。
- しん調節器パッキンが正しくセットされているか確認してください。
- しんの下部を広げ、しん案内筒としん調節器にしんをなつかせさせるために、前後左右に動かしながらしん調節器をはめ込んでください。

- しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット3本または4本で均等に締めてください。
- しん調節器の上部としん案内筒の上面(燃焼筒の面)の高さが揃っていることを確認してください。
- しん調節器にしん調節つまみを差し込み、しん調節つまみを右(時計方向)に止まるまで回して、しんを上げてください。
- しん調節器パッキンが正しくセットされているか確認してください。
- しんの下部を広げ、しん案内筒としん調節器にしんをなつかせさせるために、前後左右に動かしながらしん調節器をはめ込んでください。
- しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット3本または4本で均等に締めてください。
- しん調節器の上部としん案内筒の上面(燃焼筒の面)の高さが揃っていることを確認してください。
- しん調節器にしん調節つまみを差し込み、しん調節つまみを右(時計方向)に止まるまで回して、しんを上げてください。
- しん調節器パッキンが正しくセットされているか確認してください。
- しんの下部を広げ、しん案内筒としん調節器にしんをなつかせさせるために、前後左右に動かしながらしん調節器をはめ込んでください。

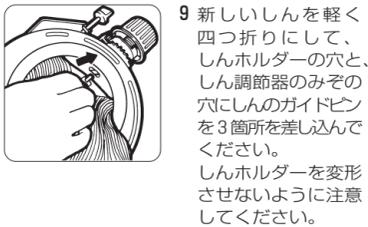
裏面に、しん高さ確認ゲージがついています。

適合する機器の型式表の 参照 ③ の機種

- 油タンク側面の電池ケースを半分程まっすぐ持ち上げて取りはずし、乾電池を取り出してください。
- セットつまみを「●」印方向(↑)に回して、対震自動消火装置を作動させてください。
- 本体と油タンクの接合部の体止めねじ3本を取りはずしてください。
- 本体をゆっくり持ち上げて取りはずしてください。



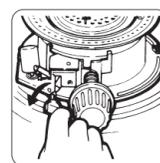
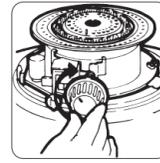
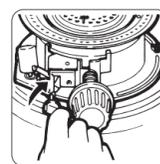
- 新しいしんを軽く四つ折りにして、しんホルダーの穴と、しん調節器のみその穴に、しんのガイドピンを3箇所を差し込んでください。しんホルダーを変形させないように注意してください。
- しん調節器の蝶ナット3本を取りはずし、しん調節器を上持ち上げて取りはずしてください。
- 古いしんを四つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん調節器からはずし、しんを下へ引き抜いてください。しんホルダーを変形させないように注意してください。
- しん調節器内側のみその穴と、しんホルダーの穴を合わせてください。



お願い  
この時しんホルダーの上下を間違えないでください。



お願い  
しんのほつれや、糸が油タンク外に出ないように注意してください。



- しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット3本で均等に締めてください。1箇所のみを締め付けるのではなく、均等に徐々に締めてください。しん調節器の上面としん案内筒の上面(燃焼筒ののる面)の高さが揃っていることを確認してください。(揃いが悪いと炎が片燃えします。)

- セットつまみを「○」印方向(↻)に回して、対震自動消火装置をセットし、しん調節つまみを右(→)に止まるまで回して、しんを上げてください。

- セットつまみを「↑」方向に回して対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がることを2~3回確認してください。しんの上下がスムーズでない場合は、しんのなつかせかたが悪いからです。もう一度10項からやりなおしてください。



- 油タンクに満量まで給油してから20分以上待つて、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに作動し、正常に燃焼することを確認してください。

- しんを最大に上げた時、しんの高さは標準(であるでつまみの①の穴)に固定ピン(約8mm)の高さに揃っていることを確認してください。しん先端の糸のほつれ等は、はさみで取り除き、きれいに整理してください。10ページの横のしん高さ確認ゲージを使用して、しんの高さを確認してください。

- 対震自動消火装置を作動させてください。

- 燃焼筒つまみを軽く左右に2~3回かし、燃焼筒が正しくしん調節器にセットされているか、しんの上ののっていないかを必ず確かめてください。

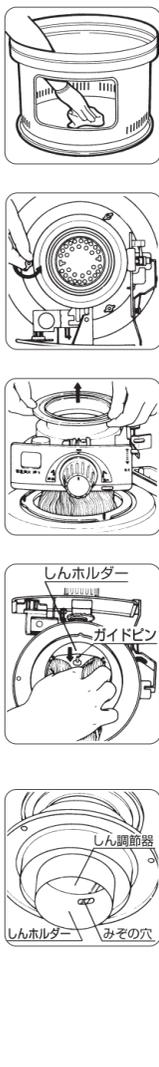
- 乾電池を、電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。乾電池の入れ方が⊕逆ですと、点火できなったり、点火しにくくなります。電池ケースを元通りに油タンクにセットしてください。

適合する機器の型式表の 参照 ④ の機種

- 油タンク側面の電池ケースを半分程まっすぐ持ち上げて取りはずし、乾電池を取り出してください。
- 対震自動消火装置を作動させてください。
- 炎筒と油タンクの接合部の体止めねじ3本を取りはずしてください。
- 炎筒をゆっくり持ち上げて取りはずしてください。

適合する機器の型式表の 参照 ⑤ の機種

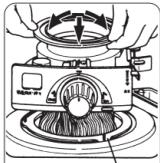
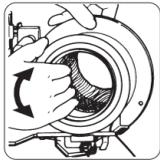
- 反射板、上面板を取りはずしてください。乾電池を、電池ケースから取りはずしてください。
- 燃焼筒を取り出してください。
- しん調節器の上部を持って、左に回してから持ち上げ、油タンクを取り出します。
- 電池ケースに差し込んでいる(2箇所)コードを引き抜いてください。
- 給油口ふたを取りはずし、市販の給油ポンプの吸込側を油タンクに差し込んで、油タンク内の灯油を抜き取ってください。



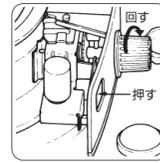
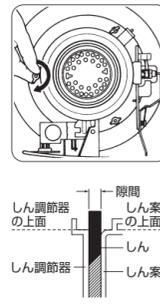
- 新しいしんを軽く4つ折りにして、しんホルダーの穴と、しん調節器のみその穴に、しんのガイドピンを3箇所を差し込んでください。しんホルダーを変形させないように注意してください。
- しん調節器の蝶ナット3本または4本を、はずしてください。
- しん調節器を上方へ持ち上げて、取りはずしてください。
- 古いしんを4つ折りにするようにして、3箇所のガイドピンをしん調節器からはずし、しんを下へ引き抜いてください。このとき、しんホルダーを変形させないように注意してください。
- しん調節器内側のみその穴と、しんホルダーの穴を合わせてください。



お願い  
この時しんホルダーの上下を間違えないでください。

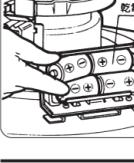
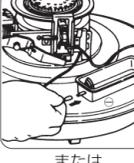


お願い  
しんのほつれや、糸が油タンクからはみ出さないように注意してください。



- しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット3本または4本で均等に締めてください。1箇所のみを締め付けるのではなく、均等に徐々に締めてください。しん調節器の上面としん案内筒の上面(燃焼筒ののる面)の高さが揃っていることを確認してください。(揃いが悪いと炎が片燃えします。)

- しん調節つまみを右(時計方向)に止まるまで回して、しんを上げてください。緊急(スピード)消火ボタンを押して対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がることを2~3回確認してください。しんの上下がスムーズでない場合は、しんのなつかせかたが悪いからです。もう一度11項からやり直してください。



HH-A-7	7(N)	約8mm
7A		
HH-216	約9mm	
S21		
S235E		
S23E		
S237E		
S219E		
210		
KTH-E219E		
210		

- しんを最大に上げたとき、しんの高さは次のとおりです。しんの高さが均一に揃っていることを確かめてください。しん先端の糸のほつれ等ははさみで取り除き、きれいに整理してください。10ページのしん高さ確認ゲージを使用して、しんの高さを確認してください。

- 電池ケースに、コード(2本)をカチッと音がするまで差し込んでください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。



- 油タンクに満量まで給油してから20分以上待つて、しんに灯油が十分に吸い上げられてからしん調節つまみを回してしんを上下させ、点火操作をして、各部がスムーズに作動し、正常に燃焼することを確認してください。

